

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2016年11月9日（水）

第685号 本号3頁

速報 TPPの採決強行狙う衆院本会議が佐藤職運委員長の職権で4時過ぎセットされました！

明日10日予定の衆議院憲法審査会は延期

10日に予定されていた衆議院憲法審査会は、9日午後与野党筆頭幹事間の協議で、衆院でのTPP審議「波高し」として、延期されることになりました。

憲法問題を一般的に議論するだけの場ではなく、改憲を発議する場でもある憲法審査会は、国民が開催を求めているわけでもなく開くべきではない、という声押し切って設定されていたものです。

10日に予定されていた「憲法制定経緯」「憲法公布70年を振り返って」をテーマにした審査会は17日に、17日予定の自由討議は24日に行うことになりました。

17日の衆院審査会の傍聴希望者は16日（水）午後4時30分までに、16日13時からの参議院憲法審査会傍聴希望者は16日午前9時までに憲法会議に、氏名、年齢、職業を明記してお知らせください。

「秘密保護法強行採決から3年、情報監視審査会報告をきく」院内集会 －仁比聡平議員（情報監視審査会委員）「特定秘密保護法を廃止するしかない」－

「秘密保護法」廃止へ！実行委員会主催の「情報監視社会報告を聞く」院内集会が、「秘密保護法強行採決から3年、情報監視審査会報告をきく」のテーマで7日、国会内で開催されました。この集会には昼の国会前行動に続き47人が参加しました。

情報監視審査会は、特定秘密保護法強行成立を受けて、2014年6月に秘密保護法をめぐる国会の監視機関として設置されました。国権の最高機関である国会の議員ですら指定された「情報」を見ることができません。そのようなもとで、情報監視審査会がどのような役割を担い、どのような内容で開催されているのか、重要な問題です。

集会では、参院情報監視審査会委員である日本共産党仁比聡平議員が、参院の監視審査会が「完全な秘密会」であり、「話せることだけ」として、秘密とする文書が広がっている、会議録も公開されていない等の問題点を指摘し、国会を行政の意のままにする異常な事態であり、だからこそ「特定秘密保護法は廃止するしかない」と世論と運動で包囲することの大事さを強調しました。

上智大学の田島泰彦氏が講演しました。田島氏は両院の監視審査会が政府に提出した年次報告書について説明するとともに、監視審査会の問題点を指摘しました。その中で、参院の委員会からは「秘密指定の要件の一つである『公になっていない情報』の定義の明確化を図るべきだ」等の意見が出されていることを紹介。また、政府側が監視審査会に秘密とする文書の概要を黒塗りで出している実態や、情報提供を拒む状況、そして委員会の過半数が与党のため異議申し立て等に影響を与えていること、秘密保護法が新たな情報機関の設置を求めている懸念を指摘しました。

秘密保護法の廃止を求め、今月も国会前で行動

「秘密保護法」廃止へ！実行委員会は、院内集会の前に、秘密保護法の廃止を求め、「11・7『秘密保護法』廃止へ！国会前行動」を衆院第二議員会館前で行いました。50人以上が参加しました。

「12・6を忘れない6日行動」として国会会期中の毎月6日を中心に取り組みされている行動です。

総かがり行動実行委員会共同代表の高田健さんは、10月30日の「自衛隊を南スーダンに送るな！いのちを守れ！青森集会」等のとりくみを報告し、「戦後、一度も戦争をしないできた日本が、海外で戦争するかもしれない段階まで来ています。皆さんと一緒に安倍政権に抗議の声をあげたい」と訴えました。

「秘密保護法の廃止をめざす藤沢市民の会」の代表は、地元で粘り強く秘密保護法の廃止や南スーダンへの自衛隊派遣反対の行動を続けていることを紹介し、「地域で行動を続けていくことが重要です。皆さん、地域から秘密保護法廃止のとりくみをすすめよう」と語りました。

国民救援会の鈴木猛事務局長は、政府が次期国会に提出しようとしている共謀罪について「秘密保護法と表裏の関係です。国民の声で3度廃案になったものを再び名を変えて出そうというのは、許されない」と、提出させないとりくみを呼びかけました。

この行動には、日本共産党の畑野君枝衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員が駆け付け、T P P 強行採決等の国会情勢の報告とともに、秘密保護法廃止に向けた決意を述べました。

秘密保護法廃止へ！「12・6を忘れない6日行動」 —共謀罪の国会提出を許さない市民の集い

◇日時 12月6日（火）18時30分～ ◇ところ 文京区民センター3A

◇お話し 平岡秀夫さん（元法務大臣 弁護士）

◇対談 平岡秀夫さん×海渡雄一さん（秘密保護法弁護団）

主催 「秘密保護法」廃止へ！実行委員会

※30日会期末の国会が延長されていれば、12:00～13:00 国会前行動—衆院第二議員会館前

監視社会を考える連続学習会

○第2回 「GPS捜査と名古屋高裁判決」

捜査機関が裁判所の令状もなく、勝手に捜査対象者の車に衛星利用測位システム（GPS）を取り付け、位置確認を行っています。はじめてGPS捜査の違法を指摘した名古屋高裁での判決について報告していただきます。

◇日時 12月8日（木）18時30分～ ◇ところ 文京区民センター2A

◇講師 佐竹靖紀弁護士 ◇資料代 500円

◇報告 白石孝さん（プライバシー・アクション代表）

「市民運動・労働運動監視にGPS使用」～韓国版盗聴法の実態～

○第3回 2017年1月24日（火）18:30～ 場所未定

「加速する監視カメラ社会化・顔認証と自動追跡」 お話し：武藤糾明弁護士

※共催 盗聴法廃止ネットワーク、共通番号いらぬネット、秘密保護法」廃止！実行委員会

戦後の流れ一変！駆けつけ警護付与、15日に閣議決定を企図 誰も許さない「戦争する国」、武器使用への盲進！！

南スーダンのPKOをめぐる、派遣部隊に「駆けつけ警護」の任務を付与する政府の実施計画変更案が明らかになりました。南スーダンに部隊派遣後も国家安全保障会議（NSC）で現地政府の受け入れ同意が「維持されると認められる」ことを再確認する、等としています。20日に現地に向け出発する交代部隊に付与するため、政府が実施計画の変更案をまとめたものです。

政府は8日与党に説明し、了解をつけ、15日の閣議で決定する予定です。

変更案では、現地政府の受け入れ同意について、「国際平和協力業務を行うべき期間を通じて安定的に維持されると認められる」と明記し、その上で必要があれば、「すみやかに国家安全保障会議を開催し、同意が安定的に維持されると認められるとの評価を再確認する」としています。

さらに、自衛隊を派遣するためのPKO5原則を満たしていても「有意義な活動を実施することが国難な場合は撤収する」と盛り込んでいます。



また、運用方針に現地情勢について、大統領派と「衝突」を繰り返している前副大統領率いる反大統領派について「系統だった組織性を有しておらず、支配地域確立にも至っていない」と指摘し、「南スーダン政府の統治機能の消失や紛争当事者の出現は、当面予見されない」としています。

15日早朝 官邸前で抗議行動—重大で危険な憲法違反の閣議決定は止めよ！

政府はこのように「安定している」として出張しながらも、「活動を実施することが国難な場合は、撤回する」とまで変更して、何としても15日に閣議決定し、20日に出発する交代部隊に付与する構えです。戦後の歴史を黒く塗り替え、海外で武力行使に公然と踏み出すという暴挙は断じて許せません。

総がかり行動実行委員会は15日、閣議決定が朝早い時間に行われることが予想されるため、朝7時45分から首相官邸前で緊急の集会を開催します。

広く参加を呼びかけています。



各地のとらきみ

高知 11・3 憲法公布 70 周年 県民の集いに 280 人

3日、沖縄在住で活躍中の小林武沖繩大学客員教授を講師に集会を開きました。こうち九条の会と女性「九条の会」こうちの共催。高新文化ホールに280人が集まりました。開会挨拶はこうち九条の会代表の青木宏治さん、閉会挨拶はこうち九条の会事務局長の谷脇和仁さんが行いました。

小林氏は「改憲攻勢と日本国憲法の原点—沖縄から何を汲みとるか」と題して講演しました。小林氏は、憲法改正は国民が歴史の進展に即して憲法を新しくすることであって、自民党憲法改正草案はこれにあてはまらない。自民党草案をもとに議論するという提案の撤回は当然である。この草案では9条を捨てて戦争国家に仕立て、国家緊急権を導入して憲法を国民の人権を保護するものから政府の強権を許す憲法に変え、本来の意義を転換させるものだと、指摘しました。

また、沖縄の新基地問題について、9月16日福岡高裁那覇支部判決は、政権の方針を全面的に追認する政治的判決で不当であるが、現在上告中で年度内に判決が出る。県はあらゆる手段を用いて対抗措置を取り、反対運動はむしろ高揚している。沖縄に重大な変化の兆しがある、と語りました。

東京・東久留米 南スーダンへの自衛隊の新任務派遣やめろ！パレード 200人

第6回戦争はいや！講演と市民パレードが5日取り組まれました。市役所市民プラザホールで10時から、「戦争法の運用を許さず非核・平和のアジアと世界を」の講演を川田忠明日本平和委員会常任理事が行いました。会場をはみ出すほどの175人が参加。「すごくわかりやすかった」「北朝鮮の事や、抑止力は相手に全然効かないことなどが解った」「NHKなどの繰り返しの北朝鮮報道は、国民を洗脳しているみたい」などの感想がありました。

11時20分からパレード。イトウヨーカドーから商工会館、生涯学習センターの近くを回り、駅近くの公園まで歩きました。これには約200人が参加。マンションの窓から手を振り、蕎麦屋さんや自転車屋さんが店から出てきて激励してくれました。

このパレードの賛同者は1000人を突破、当日1001人の名前を書いたチラシが会場で配られました。

